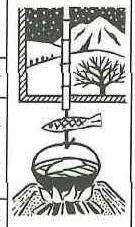


十二月  
(大)  
師走  
翼宿

十二月七日大雪の節より  
月命戊子一白水星の月  
暗劍殺北の方

旧  
十一月大



14日	13日	12日	11日	10日	9日	8日	7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日
日	土	金	木	水	火	月	火	土	金	木	水	火	日
ひのと	ひのえ	きのと	きのえ	みのう	みののうし	みづのえ	かのと	かのえ	つちのどり	ひのとひじ	ひのえ	ひのと	ひのえ
七赤	八白	九紫	一白	二黑	三碧	四绿	五黄	六白	七赤	八白	九紫	一白	二黒
東京高輪泉岳寺義士祭	●下弦五時五二分	三隣亡	大宮氷川神社人湯祭	世界人権デー、納めの金毘羅、	京都誕生日、旧えびす講、旧誓文払い、 京都始め、大根焚石忌、不成就日	こと納め、針供養、納めの薬師、成道会、 一粒万倍日	大雪六時〇五分	○望八時一四分、納めの水天宮	○望八時一四分、鉾供養、納めの水天宮	人権週間	障害者週間、秩父夜祭	映画の日、鉄の記念日、世界エイズデー、 歳末助け合い運動、不成就日	日曜日 映画の日、鉄の記念日、世界エイズデー、 歳末助け合い運動、不成就日 旧十月大
廿五	廿四	廿三	廿二	廿一	廿	十九	十八	十七	十六	十五	十四	十三	十二
佛滅	先負	友引	先勝	赤口	大安	佛滅	先負	友引	先勝	赤口	大安	佛滅	先負
とる	さだん	たいら	みつ	のぞく	たつ	とづ	ひらく	ひらく	おさん	なる	やぶる	やぶる	とる
房	氏	亢	角	軫	翼	張	星	柳	鬼	井	參	觜	畢
十し	大みやう	●	き	こ	天おん	くゑ日	大みやう	大みやう	大みやう	大みやう	神よし	大みやう	大みやう
6.42	6.42	6.41	6.40	6.39	6.39	6.38	6.37	6.36	6.35	6.34	6.33	6.32	日出人
16.29	16.28	16.28	16.28	16.28	16.28	16.28	16.28	16.28	16.28	16.28	16.28	16.28	月出人
1.14	0.16	—	23.16	22.14	21.08	19.58	18.44	17.31	16.24	15.27	14.41	14.03	13.32
12.41	12.17	11.54	11.33	11.03	10.31	9.51	9.02	8.01	6.49	5.31	4.12	2.57	1.46
0.38	11.25	10.42	10.00	9.78	8.35	7.51	7.06	6.20	5.32	4.42	3.47	2.46	1.31
12.10	—	22.39	20.53	19.42	18.52	18.09	17.28	16.49	16.10	15.31	14.52	14.13	13.35
6.04	4.52	3.53	3.05	2.20	1.35	0.49	0.03	11.35	10.52	10.06	9.18	8.27	7.28
19.47	18.50	17.17	15.40	14.34	13.44	13.00	12.18	23.17	22.32	21.49	21.07	20.26	干潮
える準備をし始める	わしになつた。	正月始めは、この月の八日から十三日から、正月を迎	ことであるが、日ごろ世話になつている人や親戚などへの、一年間のお心こころしての贈り物がいつのころから「お歳暮」というなら	れれば心に響くべきであろう。指針となし期待を持ち、そして自戒するべきものがあ	等、それらを思い返し、整理することで、来る年への	地でいろいろな行事や祭祀があるが、だいたいが納めや供養である。	走」の呼称が通例になつて	いるのは、やはり一般に師匠までも走り出す月、とい	う人間味を伴つた語感のせ	いであろうか。	中の短い月である。	この月の別名として「師	一年の締めくくりの月で

○十二月の行事

○下弦 下弦の月を指す

九  
十